

感染予防のため手洗いを励行しましょう

今年に入り中国の武漢市を中心に感染が広がった新型コロナウイルス(COVID-19)は、国内でも感染者が相次ぎ、大きな問題となっています。

コロナウイルスだけでなくインフルエンザウイルスや感染症の多くは、感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され他の人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込むことで感染します(飛沫感染)。

また、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後その手で周りの物に触れ、他の人がそれを触るとウイルスが手に付着します。その手で口や鼻を触りウイルスが身体に入ることでも感染します(接触感染)。

感染を防ぐためには、こまめな手洗いで自分自身が感染しないことがとても重要です。帰宅時や調理の前後、食事前などに石けんで手を洗うことやアルコール消毒液を使うことも効果的です。

また、咳やくしゃみなどの症状がある場合は、マスクを着用し人にうつさないための咳エチケットが大切です。



厚生労働省ホームページより
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>

本館病棟改修工事について

当院では、令和2年4月から令和3年5月まで、本館病棟の大規模な改修工事を順次実施いたします。工事期間中は、騒音・振動・階段等の使用制限・工事用車両の通行など、皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、安全には十分配慮して工事を進めてまいります。

本改修工事へのご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

なお、工事に伴う様々なご協力のお願いについては、随時、院内掲示やホームページでお知らせ致します。

【お問い合わせ】 事務部 施設物品課 望月 0545-81-2211

スタッフ募集

当院では、以下の職種について随時募集しております。

- ・看護師
- ・看護助手
- ・薬剤師
- ・診療放射線技師
- ・作業療法士
- ・臨床検査技師
- ・介護福祉士
- ・介護職員(病院、美容の丘)

勤務日・勤務時間等については相談可能です。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

【お問い合わせ】 0545-81-2211
 内線12 総務課 総務担当



共立蒲原総合病院 広報誌

蒲原病院だより

春号

令和2年 4月

回覧

新任医師紹介



やまかわ よしひろ
山川 義宏 神経内科

◆出身大学: 和歌山県立医科大学 ◆卒業年: 2005年

◆所属学会・資格等: 日本内科学会認定内科医

日本神経学会認定神経内科専門医

日本医師会認定産業医

◆専門分野: 脳卒中・神経生理

ひとこと

神経内科の山川義宏と申します。早いもので、こちらに着任してから約3か月が経ちました。この間色々なことがありましたが、慣れないながらも何とかやってこられたのも皆さんの温かい気持ちに支えられてきたおかげだと思って感謝しております。

医者の道に入って約15年が経過しましたが、今までに得てきた、特に神経内科領域における知識や経験、技術やノウハウといったものを、求めて下さっている方々のために少しでも役立てることができればと考えております。どうか今後ともよろしくお願い致します。

市民公開講座のお知らせ

こつ そ しょうしょう 骨粗鬆症の予防・治療について

日時 令和2年5月14日(木)
 15:00 ~ 1時間程度
 (14:30 受付開始)

場所 共立蒲原総合病院 本館5階 会議室

参加費 無料

申し込み 不要

講師 共立蒲原総合病院 整形外科
加藤 純一郎 医師
 骨折予防チーム

内容 骨粗鬆症の予防と治療について、当院骨折予防チームや骨折予防体操の紹介などを交えながら、骨粗鬆症と上手に付き合っ骨折不い健康で快適な生活を送ることをテーマに開催します。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。お車で越しの方は、駐車券を会場までお持ちください。会場にて無料認証いたします。

【お問い合わせ】 地域医療支援室 0545-81-5577

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に向けて開催を中止または延期する場合があります。

おしえて！認定看護師さん ～がん化学療法について～

皆様のちょっとした疑問におこたえしていきます！

Q がん化学療法ってなんですか？

A がん治療の3つの柱として、「手術療法」「放射線療法」「化学療法」があります。その中で「化学療法」は、飲み薬や点滴の抗がん剤を使用して、目に見えない小さながん細胞を死滅させたり、がん細胞の増殖を抑えたりする治療です。抗がん剤はがん細胞の死滅等に効果のある薬ですが、種類によって嘔気や食欲不振、脱毛、免疫力の低下といった様々な副作用があります。1回の治療だけでは生き残ったがん細胞が再び増殖することがあるため、がん細胞の数を減らしていくために、抗がん剤を継続して使用します。

このように、当院ではがん化学療法の副作用による生活への影響をできるだけ少なくし、仕事や家事を続けながら外来で治療を行うことができるよう支援しています。

いつでもインターンシップ開催中！

看護学生さん対象のインターンシップを、希望される日時に合わせ随時行っています。

インターンシップは実際に職場の雰囲気を感じ、思い描く看護が実践できるか考える絶好の機会です。「目指せ 日本一！ 優しさと真心」を合言葉に行っている私たちの看護を是非体験に来てください。実習の合間や休暇中など、学校も学年も問いません。病院見学だけでもOKです。多くの看護学生の皆様の参加をお待ちしております。

お申し込みは下記まで。お申し込みの際は

①氏名（メールの場合はふりがな） ②学校名 ③学年 ④来院方法 ⑤当日連絡のつく電話番号をお伝え下さい。病院ホームページでもご案内しています。

【お問い合わせ】 看護部 今井 0545-81-2211 または midori@kanbarahp.com

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止に向けて時間の短縮や中止をする場合があります。

「臨床 ME 専門認定士」誕生

透析センターに勤務する篠原知里臨床工学技士が、日本生体医工学会と日本医療機器学会で組織される臨床ME専門認定士合同認定委員会から、「臨床ME専門認定士」として認定されました。

臨床ME専門認定士は、医療施設において医療機器・システム・設備・情報技術についての広い専門的知識をもち、それらの安全性・性能・効率等の維持管理に特別な技能と経験を有する医療従事者に与えられる称号です。現在、全国で同称号を与えられている者は約1,000名しかいません。

篠原技士は透析治療における様々な業務を行うだけでなく、認定士として人工呼吸器や輸液ポンプ、手術室や内視鏡室の医療機器などの保守点検、スタッフへの医療機器の使い方の説明や指導を行っています。認定を受け篠原技士は「医療機器なくして医療はできません。私は、医療機器を通して最適な医療を提供できるようにこれからも努力していきたいと思っています」と抱負を語っています。

当院には様々な専門職が働いていますが、それぞれの知識技術の向上に日々励みつつ、専門的な視点で地域住民の皆様の健康増進、疾病回復を支援していきます。

部署紹介（健康診断センター）

健康診断センターは、診療科2名、看護科10名、診療技術科13名、営業課25名で組織され、総勢50名で地域住民の皆様と地域企業の健康管理を担っています。

年間の受診者数は、健診車6台での集団健診が約36,000人、人間ドックなどの施設内健診が約7,300人にのぼります。施設内健診で精密検査の必要な方については、その場で検査のご案内をするなど治療につなげています。

また、健康診断後の事後指導は保健師、管理栄養士による特定保健指導を実施しています。

地域住民集団健診では、特定健診及び各種がん検診、個別健診では婦人科検診（乳がん・子宮がん）が受診出来ます。また、国民健康保険加入者の人間ドックも受診できますので、近隣地域にお住まいの方はお気軽に健診センターまでご連絡ください。（各市町により実施日、実施会場、自己負担金等が異なります。）

これからも、地域住民の皆様に必要とされる健康診断センターを目指し、日々努力していきます。今後とも健康診断センターをよろしく願いいたします。“使命はあなたの健康管理”です。



【お問い合わせ】 ◇集団企業健診・住民健診 0545-81-3325 ◇人間ドック・施設内健診 0545-81-3324

当院健康診断センターが健康相談を実施した協会けんぽの取組みが厚生労働省「健康寿命をのばそう！アワード」で優良賞を受賞しました

健診と健康相談を一体化した全国健康保険協会（協会けんぽ）静岡支部の取組みが2019年度厚生労働省「健康寿命をのばそう！アワード・生活習慣病予防分野」で優良賞を受賞しました。

この取組みは、協会けんぽ加入の事業所等で実施する健診の当日に保健師・管理栄養士による健康相談を当院健康診断センターが実施し、生活習慣の改善や医療機関への受診を勧めたり、特定保健指導（メタボリックシンドローム予防）を実施するもので、生活習慣病の予防に効果があると評価されました。

当院健康診断センターには保健師8名、管理栄養士2名が在籍しており、特定保健指導をはじめとした生活習慣病予防のための活動に注力しています。「血圧が高め」「血糖値が高め」などでお悩みの方、いつでもご相談下さい。

【お問い合わせ】 健康診断センター 看護科 大川 0545-81-3325



院内コンサートを開催しました

令和元年12月11日（水）に Funky Cats Jazz orchestra の皆さんをお招きし第77回、12月20日（金）に静岡県立吉原高等学校吹奏楽部の皆さんをお招きし第78回院内コンサートを待合ロビーにて開催しました。

「赤鼻のトナカイ」や「勝手にシンバット」「昭和アイドル・コレクション」などの懐かしい曲を演奏してくれました。

入院患者さんや、外来患者さん、演者の関係者の方々全員で楽しむ事ができました。

